

■レビューアー調査ダイジェスト

【23 卒】内定者フォロー施策の概要・ケース事例

※SR ウィークリーレポート 22/08/17 号・22/10/19 号添付資料を再編集しています

<内容>

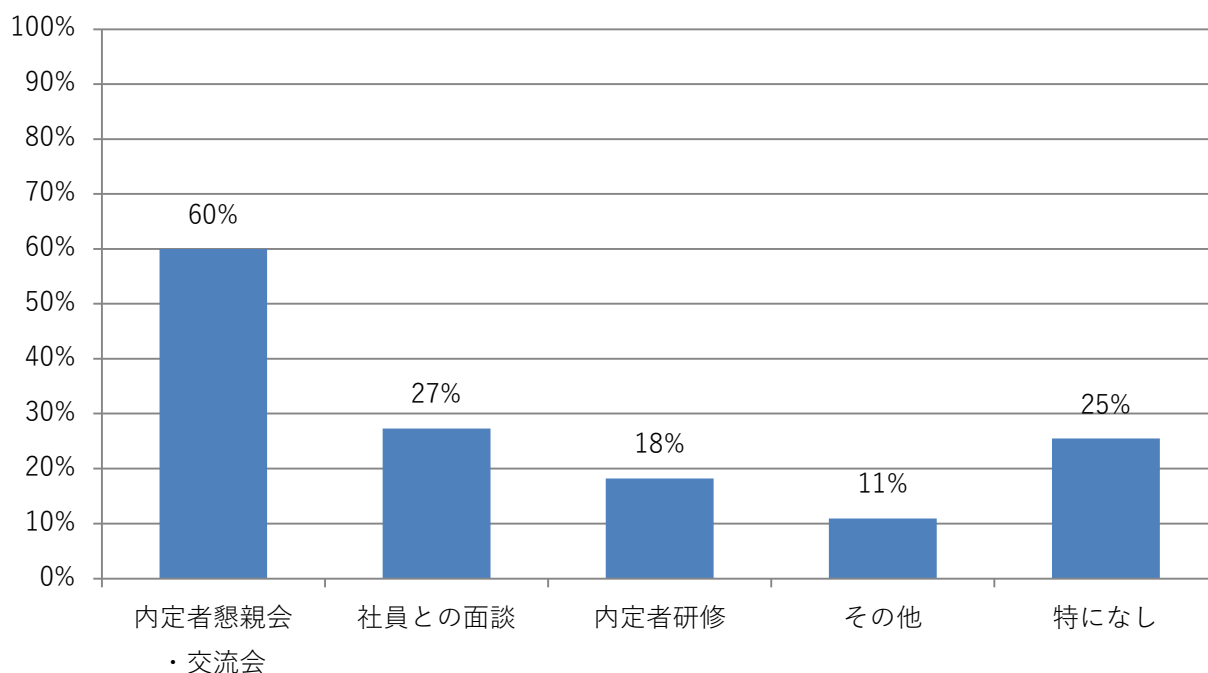
1. 内定者フォロー施策の種類
2. 内定者フォロー施策の時期・概要
3. 満足度が高かった内定者フォロー事例

(1) 【23 卒】内定者フォロー施策の種類

Q)内々定をもらって以降、内定式とは別日程で行われた内定者向け施策を教えてください

(22/9/30~10/11 調査、有効回答 53 件)

内定者フォロー施策 (複数選択可)



調査時点での**最多**は「内定者懇親会・交流会」で6割が回答しています。

「その他」は、「職場見学会」「先輩社員座談会」「仕事理解講演会」などがあがっています。

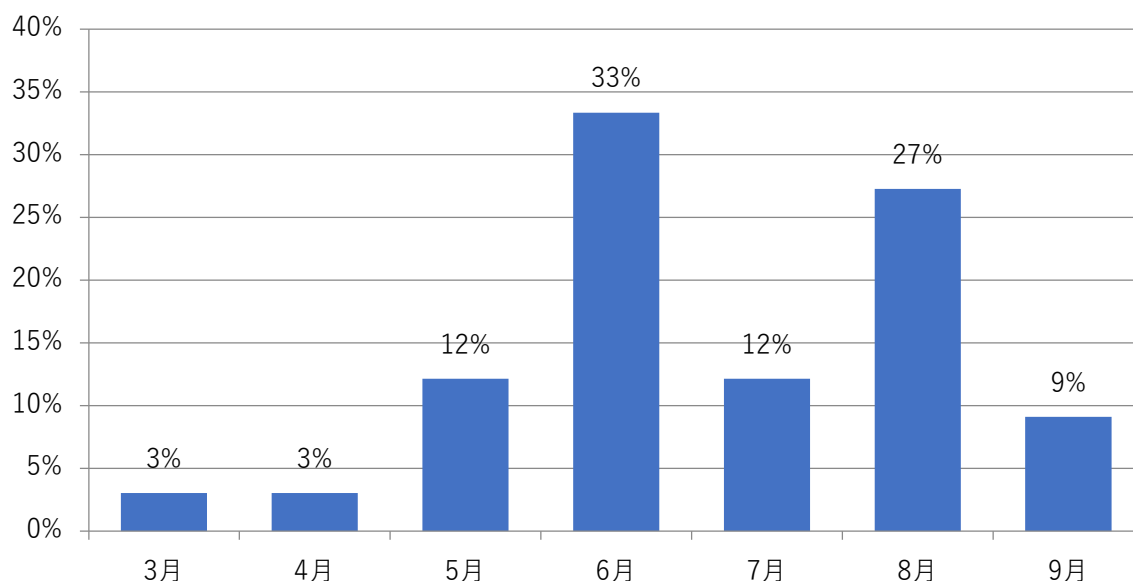
一方、「(予定も含めて) 特になし」は25%ですが、同一内定先の回答者がいるため社数で再集計すると、予定も含め特に内定者施策がない企業は約20%となりました。

(2) 【23 卒】内定者フォロー施策の時期・概要

Q)内定者施策の開催日と概要を教えてください

(22/9/30～10/11 調査、有効回答 33 件)

内定者懇親会・交流会 初回開催月 (n=33)



内定式とは別日程で行われた「内定者懇親会・交流会」の初回開催月をみると、内定が出揃う6月中下旬と、夏季休暇中の8月下旬が多くなっています。6/1開催も複数社で見られました。

「内定者懇親会・交流会」の開催回数は、約8割が「1回」でした。一方、6・7・8月の定期開催や、6月は文理別・9月は合同形式、あるいは5月に会社全体・8月に採用部署別といった複数回開催の事例も見られます。

参加者からは「企業側の用意している企画などで仲良くなる機会がとても多く、非常に良かった」など、概ね好感されています。ただし、「同期との接触が薄い懇親会、懇親会のない内定式は正直不満であった」との不満の声もあがっています。

また、6/1開催のケースでは、「原則参加だった点に少し驚いた。欠席の理由によっては内々定を取り消すとあった（後に撤回された）」と、位置づけを疑問視する姿も見られました。

(3) 【23卒】満足度が高かった内定者フォロー事例

23卒生が体験した内々定者施策・イベントのうち、高評価だった事例をご紹介します
(22/8/1～8/14 調査、有効回答 60 件)

満足度の高いプログラムとして、「**内定者同士の交流**」が目立ちました。

仲が深まりモチベーションアップに繋がったという声がある一方、「同じ部署の内定同期と顔を合わせる事が、内定受諾を検討する大きな材料になった」との冷静な声も。

上位校学生は、その企業で自己成長できるとする判断基準の一つに「社員のレベル」を挙げることも多く、同様に内定者のレベルも見極めていると推測されます。

オフィスタワーや工場・施設見学など、入社後の姿を想像できる施策は概ね高評価となっています。一般には公開していない施設を紹介するなど、**内定者に特別感を与える施策はより効果的**のようです。

<内定者フォロー事例>

▼三菱商事

名称：内々定者懇親会

時期：6月上旬

「同期となるメンバーの雰囲気を知ることができ、モチベーションアップに繋がった」

▼旭化成

名称：不明

時期：5月上旬

「周囲の内定者や人事担当者と直接話すことで、より一層入社意欲が高まった」

▼三菱重工

名称：神戸造船所見学会

時期：6月上旬

「工場を見学することができ、魅力的だった」

▼鹿島

名称：内定者懇親会

時期：6月上旬

「内定者の知り合いがあまりいなかったが、様々な大学の人と話す機会があり、入社に向けてどのような準備をしているかなど聞くことができた」

▼トヨタ自動車

名称：豊田市見学会

時期：4月下旬

「会社内や寮などを見学することができ、自分が働くイメージをすることができた」

名称：会社見学会

時期：6月下旬

「一般には入れない施設での体験など、貴重な経験の機会を与えられた」

「飲み会を通して、今までお世話になった社員と仲良くなれた」

▼ソニー

名称：ソニーグループ内定者懇談会

時期：7月上旬

「メーカー的側面を持たないグループ企業（金融、音楽）や子会社の内定者などとも幅広く交流する場が設けられていた」

▼パーソルキャリア

名称：深層心理を知る内定者研修

時期：3月下旬

「外部の講師の方がレクチャーをしてくださり、勉強になった。また、内定者との仲が深まった」